

1 学期終業式 式辞

本日で1学期が終了しますが、どんな1学期でしたか。チャレンジハイスクールの一員として、皆さん一人一人が、この1学期の間にどれだけチャレンジできたでしょうか。自分自身を振り返りながら聞いてください。

始業式、入学式から始まり、スマイルクラブやグリーンファームなどの体験学習や球技大会、進路ガイダンスなど様々な学校行事を経験しました。また、榛名山ヒルクライムや榛名中学校の寺子屋榛名、下室田小学校のアフタースクールの学習支援など、ボランティア活動に一生懸命な姿も見られました。とても充実した1学期だったと思います。たくさんの場面で、皆さんの頑張っている姿を見ることが出来ました。自分の立てた目標に向かって懸命にチャレンジしている姿は輝いて見えます。頑張った人は自分が一番よく分かっていると思うので、自分自身を褒めてやってください。

始業式で皆さんに、令和6年度のキーワードとして「気づき 考え 実行する 活気あふれる小さな学校～あっとほーむ榛高～の実現」を話しました。課題を自分事として捉え、やらされるのではなく、生徒ができることは生徒がやる。生徒が自分たちの力で解決することを目指して、先生は「指導」よりも「気づき」を促しています。人には生まれつき「自分と社会をよりよくしようという力」があります。この力を「エージェンシー」といいます。皆さんには自分と榛高をよりよくしようとする力＝エージェンシーがあります。皆さんがエージェンシーを発揮して主体的に学校生活に取り組むことで、アットホームで活気あふれる学校になると信じています。

チャレンジは「気づき 考え 実行する」ことの積み重ねです。チャレンジしてうまくいかないこともあります。失敗してもいいのです。その時、なぜうまくいかなかったのかに気づき、どうすればいいのか考え、改善策を実行して試みるのが大切です。成功するまで粘り強くチャレンジし続けることで、成功へたどり着くことができます。困難が大きければ大きいほど、成功は大きな達成感と自信をもたらします。

また、今年度も「みそあじ」運動にチャレンジしようと呼びかけました。「みだしなみ」「そうじ」「あいさつ」「じかん」の「みそあじ」を意識して生活することで、榛高が居心地のいい、素敵で、楽しい学校になるように一人一人がチャレンジしてくださいとお願いしました。

毎朝、登校時に多くの皆さんが、しっかりとした身だしなみで、元気よくあいさつしてくれました。とてもうれしく思っています。掃除をしっかりやり、時間を守ることも、多くの方が規律ある学校生活を過ごしてくれたものと思います。しかし、まだ全員ができていないわけではないので、社会へ出てから困らないように、卒業までには全員が「みそあじ」がしっかりできる人に成長して欲しいと思います。

これから長い夏休みになりますが、普段出来ないことにチャレンジして、自分自身を一層高めてください。よく夏休みは目標を立てて計画的に過ごしましょうと言われるかもしれませんが、まずはチャレンジしたい目標＝ゴールを設定しましょう。「この夏休みで、何ができるようになったか」夏休み明けに質問しますので、胸を張って答えられるようにしてください。

昨年の保健委員会の「生活習慣とスマホの利用に関するアンケート」の結果が気になります。「休日にスマホを1日何時間くらい使用していますか。」という問いに、7時間以上と答えた人が半数以上いました。確かにスマホは便利で、楽しいコンテンツもたくさんあります。でも、スマホだけに囚われた生活でよいのでしょうか。スマホの長時間使用は、心身の健康に悪影響があることがわかっています。スマホの利用時間のルールを自分で決め、自分で管理しましょう。夏休み中にスマホの他に何か楽しいと思える、自分が打ち込めるものを探してください。

最後になりますが、もしかすると長い休みの間一人でいると、悩みを抱えてしまうことがあるかもしれません。万が一「死んでしまいたい」と思い悩んだとしても、あなたは一人ではありません。多くの方が支えてくれます。先生やご家族、専門の相談機関に連絡しましょう。必ず解決策はあります。一人で抱えず、一緒に考えましょう。

それでは皆さん、夏休み中もエージェンシーを発揮して「気づき 考え 実行する」ことを実践してください。たくさんチャレンジしてください。2学期の始業式には元気で充実した顔を見せてくれることを楽しみにしています。皆さんの成長を期待しています。